

ゆめ通信



ゆめ合宿を
行いました



2~3 すずき川花火大会プロジェクト

4~6 学生チャレンジプロジェクトは今

- 新村公民館で料理教室 (◎いただきます!!)
- レゴブロックコンテストを企画・開催 (プロブロ)
- 栄村で合宿 (ええじゃん栄村)
- キッズに大人気 (キッズスポーツスクール)
- 情報誌で生協とコラボ (Volere)
- 親子のふれあいの場 (こどもあそび隊)
- バリアフリーを身近に (Sign)

考房「ゆめ」は社会貢献活動を行う学生を支援しています。地域の方からの「お願い」を松大生とともに創造しています!



地域づくり考房「ゆめ」キャラクター こう坊

7 梓乃森祭 ゆめひろば

8 あるぷすタウン実行委員会



すすき川花火大会 プロジェクト

松本の夜空に咲いた花火を松本大学生が盛り上げました

すすき川花火大会プロジェクトでは富士電機株式会社様をはじめ花火大会実行委員の方々や、地域の企業の方々と協力してすすき川花火大会をより楽しんでもらうための活動を行っています。昨年からすすき川花火大会に松本大学生も関わらせていただいております。今年正式に地域づくり考房「ゆめ」のプロジェクト化されることとなりました。活動としては、主に花火大会を盛り上げるための企画の提案や、ポスターデザイン、ラジオ CM 等の広報活動を行っています。普段は考房「ゆめ」での活動が多いですが、月に一度富士電機さんの方へ行き、綺麗な会社で打ち合わせをしたりします。その他にも、花火師さんとの打ち合わせの際は花火を作っているところを間近で見学させて頂いたり、花火大会の宣伝としてラジオの生放送に出演させて頂くなど、普段あまり出来ないことを活動を通して経験できるのが特徴です。

現在は、3年生1人、2年生6人、1年生5人の計12人で楽しく活動しています。

松商短期大学部商学科2年 平畑有菜

たまや〜



ラジオ番組に生出演



富士電機との打ち合わせ



花火大会当日の抽選会

花火大会データ

すすき川花火大会 2015

開催日	8月10日(月) 19:30 ~ 20:45
打ち上げ場所	松本市のすすき川河川敷
打上げ玉数	約3,600発
観覧者数	約1万人
主催	すすき川花火大会実行委員会
後援	松本市・松本商工会議所
協力	松本大学

大会事務局の富士電機からのメッセージ

昨年に引き続き、すすき川花火大会の企画・運営に11名の学生の皆様にご協力いただいております。

昨年から携わっていただいていたメンバーが、新たに加わっていただくメンバーに活動内容を共有しながら一緒に活動を行っていただき、一年間で大きく成長している姿を拝見し、頼もしく感じました。

主な活動内容は、ポスター・交通規制図などの紙媒体の企画と、ラジオによる告知の企画・運営などを主体的に取り組んでいただきました。

詳しい活動内容はすすき川花火大会ホームページ (<http://susukigawa-hanabi.com/>) で公開中です。

富士電機株式会社 松本工場 総務部 保阪 努

企画・運営に挑戦

企画グループは、セイジ・オザワフェスティバルとのコラボについて考えました。そこで、小沢征爾さんが指揮する「ブラームス交響曲第4番」「くるみ割り人形」をイメージした花火を打ち上げようと考えました。音楽にのせて花火をとということで、花火師さんに依頼するため、華松煙火さんの所へ訪問させていただきました。花火工場は民家から離れている山奥にあり、花火の製作過程、花火の作り方など、たくさんの事を教えていただきました。花火工場を見学という、とても貴重な体験ができました。

そしてなんと、花火大会宣伝のため FM まつもとさんのラジオ CM の収録と番組の生放送に出演させていただきました。

CM は、曜日ごとに話が進んでいく1週間ストーリーで、自分たちで原稿を考えました。どんな話にするか考えたり、話を時間内でまとめたりするのはとても難しかったです。試行錯誤を繰り返して、最終的にとてもいいCMになりました。番組の生放送にも出演し、パーソナリティーさんとのかけあいを経験することができて、これまた貴重な体験をさせていただきました。

花火大会成功はいろんな方とのつながりがあったからこそだったと思います。みなさん、ありがとうございました！

松商短期大学部商学科2年 青木和

広報を担当して度胸がつきました

私は今年初めてすすき川花火大会のプロジェクトに参加しました。広報グループに入った私は主に折り込みチラシのデザインを一から考えました。去年の反省点を改善しつつ、新しい学生アイデアをチラシに取り入れるため、打ち合わせを日々重ねました。広報物は花火大会当日より1週間程度前には完成させなければいけません。決められた期限や印刷までに仕上げなければならず、一方で学生たちは時間との戦いでした。チラシでは情報が多すぎた交通規制の案内を分かりやすくするために工夫しました。公共のバスなどの交通手段を使ってもらうためにシャトルバスの案内を大きくし、余計な信号は無くし、目印となる建物だけ残し、すっきりさせることができました。裏に大きく交通規制を載せたため、協賛企業一覧やプログラムを表面に持ってきました。表面も

いらぬ情報は省き、ホームページへのアクセスを目立つようにし、また、セイジオザワ松本フェスティバルや鉄砲隊などのコラボ案内も載せ、背景はポスター、チラシともに去年の写真絵画コンテストの入賞写真を使い、充実したものになりました。

私はすすき川花火大会のプロジェクトに参加し、今までにない経験をたくさんしました。企業の方、地域の方などに自分たちのアイデアを発表するときとはとても緊張しましたが、度胸もプレゼンテーションの力もついたと思います。また、学生だけにしか考えつかないものを発信していくことは時間もかかり大変でしたが、プロジェクトの先輩方と考えた日々が自分を成長させてくれました。

総合経営学部総合経営学科2年 赤羽祐香

プロジェクトに初めて参加

私は、6月にすすき川花火大会プロジェクトに参加しました。

きっかけは、入学から一段落して授業やサークル以外に関わってみたいと思ったからで、他にも考房ゆめにはいろんなグループがありましたが、その中でも地域のイベントである「すすき川花火大会」という大勢の方が参加するイベントに企画・運営側として参加してみたい!と思ったからです。

実際に入ってみると、グループの中でも企画と広報に分かれていて、私は広報に入りました。広報では、花火大会が開催されることを大勢の方に知ってもらい、興味を持ってもらえるようなポスターや折り込みチラシのデザインを作成しました。自分たちが作っているポスターが大勢の方に見てもら

えるものだと思うと自然と力が入りました。

また、ラジオでの広報活動も担当していて、ラジオの生放送にも参加させていただきました!ラジオで放送するのは初めての体験で、だいぶ緊張しましたが、どうしゃべったら声が聞き取りやすいか、とか考えながらしゃべることは、あまりない体験だったのでいい経験になったと思いました。

今年はあまりやることは残っていませんが、また来年も私は花火大会に企画・運営側として参加するつもりです。その時には、今年協力して下さったグループの方々以外にも、新たに興味を持っていただけた方にぜひ参加してもらえたらいいなと思います。

松商短期大学部経営情報学科1年 太田雅也

● 新村公民館で料理教室

◎いただきます!! は残り物を活用したリメイク料理のレシピと野菜を丸ごと使用した丸ごと料理のレシピを考案し「もったいない」の心で地域の食品ロス削減を目指すことを目的としています。また、松本市環境政策課と協働し食品ロス削減に基づいたレシピ集の完成を目指して活動しています。◎はお皿、!!はお箸を表しています。8月には地域の方々に丸ごと料理・リメイク料理を広めるため、新村公民館にて親子を対象とした料理教室を開催しました。新村地区を中心に12名の子ども達、8名の保護者の方に参加していただきました。料理教室では参加者の方々、学生、地域の皆さんと一緒に『肉みそそうめん』、『ケーキサレ』、『かぼちゃミルクもち』を作りました。『肉みそそうめん』はそうめんが余った場合のリメイク料理、『ケーキサレ』は塩味のおかずケーキでブロッコリーの茎を使用した丸ごと料理、『かぼちゃミルクもち』はかぼちゃの煮物をデザートに変えたリメイク料理です。料理教室後に行ったアンケートでは「家族にも作ってあげたい」、「丸ごと料理・リメイク料理に興味を持った」、「親子での料理教室はなかなかないことなので良い機会になった」などといった参加者の方からの声があり、楽しんでもらうことができました。

人間健康学部健康栄養学科2年 庭野愛永

◎いただきます!!



● 親子の触れ合いの場「こども広場」

・こんにちは、こどもあそび隊です!

私たちこどもあそび隊は毎月1回、土曜日の午前中に「こども広場」を開催しています。親子の触れ合いの場としてはもちろん、親御さん同士の交流の場ともなるような場作りを目的とし、季節やイベントに合った企画を学生12名で提供しています。

・今年度のこれまでの活動紹介…♪

今年度はこれまでに4回開催しました。「こどもの日」の5月は事前にスタッフが描いたこいのぼりを子供たちに折り紙などで装飾してもらったり、「雨の日を楽しもう!」がテーマの6月は牛乳パックでカエルのおもちゃを作って子供たちにお顔を描いてもらいました。8月には「夏を楽しもう☆」をテーマに、シールや折り紙を貼ってオリジナルのうちわを作ってもらいました。子供たちの自由な感性を大切にしながら、親御さんと一緒に楽しんでもらえるように、今後も企画していきたいと思えます!

松商短期大学部経営情報学科2年 中島ひかる

こどもあそび隊



● 栄村で合宿

私たちええじゃん栄村は、栄村で採れる旬の食材を使用したメニュー開発を行い、ぶらり農園を起点として栄村を元気にし、栄村を訪問して下さった方に栄村の食材を食べてもらいたいという提携先の方の願いを実現することを目的に活動してきました。

そして今回は、ぶらり農園で提供するイタドリを使ったメニュー開発と四季のシフォンケーキの開発を行ってきました。イタドリとは栄村で採れる山菜のことで、私たちはまずイタドリがどういうものなのかを知るために勉強会を開きました。それからメニュー開発を行いました。イタドリと四季のシフォンケーキの試作品の試食会を行い、栄村訪問に向けて改良を重ねてきました。

栄村訪問では試作品の試食、農作業体験、絵手紙館に行ってきました。雨の影響で畑に入るとの作業はできませんでしたが、その代わりににんにくの皮を剥くお手伝いをさせていただきました。

今回の栄村訪問を通して、現在の栄村の様子を自分たちの目で見ることができました。また栄村訪問でぶらり農園の様子を聞くことができ、今後の活動に役立てていきたいと思えます。これからも栄村で採れる食材を使ってメニュー開発や新しい試みができたらと思います。

人間健康学部健康栄養学科2年 山崎舞佳

ええじゃん栄村



● レゴブロックコンテストを企画・開催

私たちブロックリユースプロジェクト通称プロプロでは、家庭などで使われなくなったレゴブロックを回収し必要としている子供たちや施設などに無償で提供することを目的に活動をしています。活動は2014年の夏に開始しました。実際に行った活動として、まず一つ目に挙げられるのがレゴコンです。レゴコンは松本大学を会場として行っています。地域の保育園に招待状を送り来ていただいた子供とスタッフの大学生がペアを組み一つの作品を作ります。それらをお互いに見せ合う時間を作り、子供たちが気に入った作品ができた時要望があればそれをプレゼントする、といった活動です。今までに2回開催しており、10人前後の子供たちが参加してくれています。二つ目にこども病院へのブロックの提供です。今年の5月に安曇野のこども病院へ行き大きめのブロックの提供を行ってきました。遊びの手段が限定されてしまう入院患者の子供たちに少しでも貢献出来たらよかったです。今後は大学の文化祭やほかの企画を通して活動範囲の拡大とそれに伴うレゴブロックの回収と提供を積極的に行っていく予定です。

総合経営学部総合経営学科2年 木下栄作

プロプロ



● キッズに大人気

私たちキッズスポーツスクールは、子どもの発達・発育に合わせた様々なスポーツを通して、体を動かす楽しさを知ってもらうことを目的に、月に2回土曜日に、3~6歳の子供たちを対象としたスポーツ教室を行っています。“ボールとなかよくなる” “親子であそぼう” など、毎回テーマに沿ったメニューを考え、運動あそびの提供しています。

昨年に引き続き、広報活動に力を入れていることもあり、参加者が増えました。より一層内容を充実させ、子供たちだけでなく、保護者の方々にも満足していただけるメニューの提供を行っていききたいと思います。

また私たちはキッズスポーツスクールの活動だけでなく、地域の活動にも積極的に参加しています。7月には、新村地区のオープン大会に参加させていただき、ニュースポーツを通して地域の方々とふれあうことができました。

今後も、地域の方々や子供たちと一緒に元気いっぱい・笑顔いっぱい活動していきたいと思えます。

人間健康学部スポーツ健康学科3年 山口奈菜

キッズスポーツスクール



● 情報誌で生協とコラボ

私たちは、地域と大学をつなぎ「~したい」を形にする情報を発信していきたいと考えています。主な活動として大学の情報誌「Volere!!」の作製を行っています。これは、新入生に大学のことをもっと知ってもらうための活動でもあります。大学祭の様子を取り上げたり、地域のお店取材を紹介しています。

実際に作製するためには、取材から始まり、内容構成、レイアウトなどみんなで話し、1つの情報誌を作り上げます。何度も意見を出し合い、試行錯誤するので大変ではありましたが、出来上がった時には達成感とやりがいを感じることができました。取材は社会人の方と接する機会もあり、貴重な体験ができるので勉強にもなります。

また、大学の生協さんとコラボをして、生協でお買い物をしたレシートでくじが引ける「どりーむくじ」という企画も行いました。景品には、生協で使える券もあり、大勢の学生に参加していただくことができました。

松商短期大学部経営情報学科2年 小林砂稀

Volere!! ポレレ



学生チャレンジプロジェクトは今

● バリアフリーを身近に

Sign というのは、聴覚障がい者との交流、学習会、イベントなどで学んだ内容を啓発し、聴者の方々に聴覚障がいについての理解を深めてもらう場を継続的に作り、広めていくことを目標に活動しているプロジェクトです。

今までに技能五輪や文化祭、耳の日記念文化祭で自主企画をしたり、3.11で被災した聴こえない人達の現状を伝える上映会の運営に携わったり、諏訪の美術館などのバリアフリー調査を実施してきました。このプロジェクトに参加して私たちにあって、当たり前なことであっても聴覚障がい者の方には不便であることを改めて発見することにより、聴覚障がい者に対する固定観念を変えることができました。だからこそ自分たちが学んだことを他の方々に啓発していきたいです。

人間健康学部スポーツ健康学科3年 松永大空

Sign サイン



ゆめ合宿

地域づくり考房『ゆめ』では夏休みに高遠で『ゆめ』合宿を行いました。計画的に活動に取り組むためのワークショップや9つのプロジェクトの活動報告、『ゆめ』をより良く運営するためのワールドカフェ、自然やクラフト体験、大交流会と充実した2日間でした。



合宿プログラム

開講オリエンテーション	
体験企画	溪流釣り、モザイクキャンドル、土笛制作、餅つき
ワークショップ	計画的な事業実施のために(廣瀬豊准教授)
大交流会	各プロジェクトより全員参加のゲームやダンス
全体会	参加プロジェクトごとの活動報告
ワールドカフェ	テーマ:これからの『ゆめ』について



梓乃森祭『ゆめひろば』でお待ちしています

会場 5号館ロビー・511教室
模擬店テント

地域づくり考房『ゆめ』 ゆめひろば



おいでください!

10月17日(土)、18日(日)に松本大学梓乃森祭が開催されます。考房『ゆめ』の運営するコーナーは、学生たちが中心に作り上げます。その魅力は、学生が日ごろかかわっている地元地域や企業、市民の方と作り上げているプログラムにあります。

Veg Sweets

松大カフェ × ポタジエ

柿沢安耶さんがオーナーシェフを務めるオーガニック野菜スイーツ専門店「パティスリー ポタジエ」のスイーツと、栄村を支援している栄養学を学ぶ学生たちが開発したスイーツを提供する1日限定のスイーツカフェです。ぜひお気軽にお越しくださいませ。

10月18日(日)
11:00 ~ 15:30
フォレストホール

安曇野産の食材を使用した限定メニュー
・トウモロコシのロールケーキ
・穂高いんげんのスクエア型ケーキ
※商品は予告なく変わる可能性があります。

【主催】地域づくり考房『ゆめ』+地域健康支援ステーション 【協力】企業組合 Vif 穂高・あづみ野菓子工房彩香



ええじゃん栄村

栄村のぶらり農園で収穫された野菜(トマト、かぼちゃ、ほおすき)のシフォンケーキを試作を重ねて完成させました。制作:あづみ野菓子工房彩香

野菜パティシエール 柿沢安耶氏 公開講座「スイーツで届ける野菜の美味しさ」10月18日(日)開場10:30~ 開講11:00~ 聴講無料



コムハウス

コムハウスは障がいのある方の就労支援や地域交流の場。人気のクッキーをはじめ心のこもった手作り品、日用品販売コーナーを5号館ロビーで行います。



いただきます

体の芯から暖まる名物の豚汁は模擬店コーナーでご賞味いただけます。もったいないクッキングで食品ロスを減らせるレシピ作りの成果や公民館と協力して行った親子料理教室の取り組み展示は511教室です。



おやすみ処

5号館ロビーで新村の婦人グループ『マーブルの会』と『ゆめ』で運営するおやすみ処です。お茶は無料サービス、毎年人気のちらし寿司(売切れ御免)今年もご用意します。



プロプロ

511教室に常時レゴブロックで遊べるフリースペースを作ります。両日とも10時~15時半までのなかで3回(1日目2回、2日目1回)レゴブロックを使ったコンテストを予定しています。飛び入り大歓迎です。



Sign バリアフリー体験

「音が聞き取れない、目が不自由」などの障がい体験を通じて、コミュニケーションや助け合いの大切さを感じていただく体験企画です。5号館ロビーで受付を行います。



再生食器展示

松本市消費者の会波田地区のグループと松本大生が運営するコーナーです。ご家庭の不用陶磁器を粉砕加工して新たな陶磁器に再生する取り組みの展示を予定しています。



松本大学が
子ども達で作る町に変身する

子ども達が町を運営し、作り上げていく子どもだけの町「あるぷすタウン」を今年度も第2回として開催します。

職業となさっているプロの方に本物の仕事を指導していただき、お金を稼ぎ、税金を納め、残ったお金は好きなように使う一連の流れから子どもが楽しみながら街を知る・暮らしを知る・仕事を知る取り組みです。

第2回「あるぷすタウン」では、より充実した仕事ブースや市長・議員の政策反映を考えています。

現在、実行委員会ではブースの企画や専門家の方への協力依頼を進めています。

新しい実行委員メンバーを迎え一人一人が役割を持ち社会人と協力し合い開催に向けて活動中です。

「また来たい!」「もっと色々な仕事をしたい!」という子どもたちの声に応えられるよう力を注いでいこうと思います。

実行委員・当日スタッフはまだ募集中です!一緒にあるぷすタウンを創っていきませんか?

あるぷすタウン 実行委員会 代表 人間健康学部健康栄養学科3年 鍋島ひかり



開催日

2016年2月27日(土)

2月28日(日)

松本大学 5号館にて

あるぷす
タウンの仕事の例 (予定)

- ① 市長
- ② ハローワーク
- ③ 病院
- ④ 美容院
- ⑤ 食べ物屋
- ⑥ 議員
- ⑦ 銀行
- ⑧ ラジオ局
- ⑨ 漫画家
- ⑩ お花屋
- ⑪ 市役所
- ⑫ 税務署
- ⑬ 写真屋
- ⑭ 新聞屋
- ⑮ 他



主催：あるぷすタウン実行委員会 共催：松本大学

つぶやき

9月2日、3日に39名が参加して、国立信州高遠青少年自然の家で合宿を行いました。

合宿形式は初めての試みです。ワークショップや9つのプロジェクトからの活動報告、『ゆめ』をより良く運営するためのワールドカフェ形式の話し合い、指導員を招いての体験企画(渓流釣り、キャンドル、土笛作り、餅つき)にも挑戦しました。参加者からは『みんなで話す機会を得て、ゆめにはいろいろ問題があり、そのことに気がつくことができた』『どのプロジェクトも明確な目標をきちんと持っているということがわかった』『改善すべき点はたくさんあるけれど、他プロジェクトとの交流で多くの事が学べた』など手応えを感じるアンケートが寄せられ後期活動に向けて、大いに学び、交流を深めた2日間でした。

地域づくり考房『ゆめ』 課長 臼井健司

お問い合わせ、ご意見等は下記へご連絡ください。



松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

松本大学 7号館 2F

T E L : 0263-48-7213 (直通)

F A X : 0263-48-7216 (直通)

E-mail : community@matsu.ac.jp

U R L : http://www.matsu.ac.jp/matsumoto_u/yume/

※開館日時：月～金 9：30～18：30